



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 八十二銀行
 コード番号 8359 URL <http://www.82bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 湯本 昭一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画部長 (氏名) 浜村 九二雄
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日
 特定取引勘定設置の有無 有
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 026-227-1182

(本資料に記載の金額、比率等は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	132,210	6.3	38,672	26.9	22,767	38.3
25年3月期第3四半期	124,334	△2.8	30,451	△14.2	16,456	△3.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 43,173百万円 (45.0%) 25年3月期第3四半期 29,760百万円 (258.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	44.97	44.92
25年3月期第3四半期	32.36	32.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,514,226	600,608	7.6
25年3月期	7,254,978	563,238	7.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 574,075百万円 25年3月期 539,401百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	6.50	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の期末及び合計には、記念配当2円を含めております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	15.4	26,500	19.6	52.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	521,103,411 株	25年3月期	521,103,411 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	14,846,772 株	25年3月期	14,922,151 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	506,238,402 株	25年3月期3Q	508,477,930 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

平成 25 年度第 3 四半期 決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結経営成績につきましては以下のとおりとなりました。

経常収益は、国債等債券売却益などの「その他業務収益」が増加したこと及び貸倒引当金戻入益並びに株式等売却益などの「その他経常収益」が増加したことなどにより対前年同期 78 億 7 千 6 百万円増加して 1,322 億 1 千万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損などの「その他業務費用」及び「資金調達費用」が増加したものの、株式等償却などの「その他経常費用」及び「営業経費」が減少したことなどにより対前年同期 3 億 4 千 5 百万円減少して 935 億 3 千 8 百万円となりました。この結果、経常利益は対前年同期 82 億 2 千 1 百万円増加して 386 億 7 千 2 百万円となりました。

四半期純利益は、法人税等合計が増加したものの、経常利益が増加したことを主因に対前年同期 63 億 1 千 1 百万円増加して 227 億 6 千 7 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における財政状態につきましては以下のとおりとなりました。

総資産は前連結会計年度末比 2,592 億円増加して 7 兆 5,142 億円となり、負債は前連結会計年度末比 2,218 億円増加して 6 兆 9,136 億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 373 億円増加して 6,006 億円となりました。

主要な科目の四半期末残高につきましては、貸出金は長野県外の事業性資金及び個人向けの資金等が増加したことを主因に前連結会計年度末比 1,141 億円増加して 4 兆 4,304 億円となりました。有価証券は外国証券及び株式が増加したことなどを主因に前連結会計年度末比 508 億円増加して 2 兆 3,254 億円となりました。預金は個人及び法人の預金が続ぎ堅調に推移し、前連結会計年度末比 1,579 億円増加して 5 兆 9,665 億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月8日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	346,224	351,853
コールローン及び買入手形	22,572	68,822
買入金銭債権	46,405	55,043
特定取引資産	39,379	27,086
金銭の信託	29,735	63,977
有価証券	2,274,684	2,325,487
貸出金	4,316,284	4,430,433
外国為替	22,945	19,812
リース債権及びリース投資資産	56,535	56,728
その他資産	89,111	96,438
有形固定資産	35,431	37,206
無形固定資産	4,817	4,781
繰延税金資産	3,422	3,415
支払承諾見返	43,185	41,105
貸倒引当金	75,755	67,966
投資損失引当金	0	0
資産の部合計	7,254,978	7,514,226
負債の部		
預金	5,808,637	5,966,551
譲渡性預金	372,257	522,000
コールマネー及び売渡手形	29,501	19,749
債券貸借取引受入担保金	97,707	120,708
特定取引負債	6,774	6,646
借入金	161,496	56,313
外国為替	2,476	1,185
その他負債	112,995	111,387
退職給付引当金	14,920	14,909
睡眠預金払戻損失引当金	603	514
偶発損失引当金	1,187	1,177
特別法上の引当金	7	10
繰延税金負債	39,989	51,357
支払承諾	43,185	41,105
負債の部合計	6,691,740	6,913,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
資本金	52,243	52,243
資本剰余金	29,674	29,674
利益剰余金	346,651	363,590
自己株式	7,209	7,176
株主資本合計	421,358	438,331
その他有価証券評価差額金	134,197	142,868
繰延ヘッジ損益	15,330	6,543
為替換算調整勘定	824	580
その他の包括利益累計額合計	118,042	135,744
新株予約権	204	214
少数株主持分	23,632	26,318
純資産の部合計	563,238	600,608
負債及び純資産の部合計	7,254,978	7,514,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	124,334	132,210
資金運用収益	67,149	67,621
(うち貸出金利息)	46,232	43,772
(うち有価証券利息配当金)	20,284	23,209
信託報酬	2	2
役務取引等収益	15,365	16,265
特定取引収益	659	1,141
その他業務収益	34,812	37,893
その他経常収益	6,346	9,286
経常費用	93,883	93,538
資金調達費用	6,008	6,782
(うち預金利息)	2,058	1,811
役務取引等費用	4,366	4,526
その他業務費用	25,042	27,559
営業経費	49,462	48,361
その他経常費用	9,003	6,308
経常利益	30,451	38,672
特別利益	2	65
固定資産処分益	1	65
金融商品取引責任準備金取崩額	1	-
特別損失	534	172
固定資産処分損	48	99
減損損失	485	70
金融商品取引責任準備金繰入額	-	3
税金等調整前四半期純利益	29,919	38,564
法人税、住民税及び事業税	10,286	11,172
法人税等調整額	1,387	2,275
法人税等合計	11,673	13,448
少数株主損益調整前四半期純利益	18,245	25,116
少数株主利益	1,789	2,348
四半期純利益	16,456	22,767

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,245	25,116
その他の包括利益	11,514	18,056
その他有価証券評価差額金	11,757	9,025
繰延ヘッジ損益	239	8,787
為替換算調整勘定	3	244
四半期包括利益	29,760	43,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,006	40,469
少数株主に係る四半期包括利益	1,754	2,704

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ありません。

平成25年度第3四半期 決算説明資料

【 目 次 】

1 . 平成25年度第3四半期の損益	単	1
2 . 有価証券関係損益	単	2
3 . 預金、貸出金の残高	単	
4 . 消費者ローン残高	単	
5 . 中小企業等貸出金	単	
6 . 個人預り金融資産の残高（末残）	単	3
7 . 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示	単	
8 . その他有価証券で時価のあるものの評価損益	単	4
9 . 自己資本比率（国際統一基準）	連・単	

1. 平成25年度第3四半期の損益【単体】

	25年度第3四半期		24年度第3四半期	〔公表予想値〕 25年度通期
	(9ヵ月間)	対前年同期	(9ヵ月間)	
業務粗利益	75,184	1,027	74,156	941
資金利益	60,752	△ 169	60,921	768
役務取引等利益	7,696	224	7,471	107
特定取引利益	106	△ 20	127	3
その他業務利益	6,628	993	5,635	61
うち国債等債券損益①	6,327	1,123	5,203	52
経費	44,763	81	44,681	600
うち人件費	22,444	△ 85	22,530	298
うち物件費	20,305	208	20,097	274
コア業務純益(注)	24,093	△ 177	24,271	290
実質業務純益(注)	30,420	945	29,474	340
一般貸倒引当金繰入額(注)②	—	—	—	—
業務純益(注)	30,420	945	29,474	340
株式等損益③	2,099	4,039	△ 1,940	17
金銭の信託運用損益	△ 321	837	△ 1,159	
不良債権処理額④	587	△ 156	744	7
貸倒引当金戻入益(注)⑤(A-B)	1,611	1,300	311	37
一般貸倒引当金取崩額(注)A	3,622	534	3,087	
個別貸倒引当金繰入額(注)B	2,010	△ 765	2,775	
償却債権取立益⑥	2	△ 21	24	0
経常利益	33,641	7,887	25,753	400
特別損益	△ 93	435	△ 529	
法人税等合計	12,356	2,497	9,859	
四半期(当期)純利益	21,190	5,825	15,364	250

与信関係費用②+④-⑤-⑥	△ 1,027	△ 1,435	408	△ 30
有価証券関係損益①+③	8,426	5,163	3,263	69

(注) 1. コア業務純益、実質業務純益及び業務純益の計算式は次のとおりです。

コア業務純益＝業務粗利益－経費－国債等債券損益

実質業務純益＝業務粗利益－経費

業務純益＝業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

2. 25年度第3四半期及び24年度第3四半期は、一般貸倒引当金の取崩額が個別貸倒引当金の繰入額を上回り貸倒引当金全体で取崩となりましたので、経理基準に従い、その純額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

- (ア) 実質業務純益は、資金利益が減少し経費が増加したものの、国債等債券損益及び手数料等の役務取引等利益が増加したことから、前年同期比9億円増加して304億円となりました。
- (イ) 経常利益は、主に株式等損益及び貸倒引当金戻入益が増加したことから、前年同期比78億円増加して336億円となりました。
- (ウ) 四半期純利益は、経常利益の増加により前年同期比58億円増加して211億円となりました。
- (エ) 25年度通期予想値に対する進捗状況は、有価証券関係損益の大幅な計画上回りにより、実質業務純益、経常利益及び四半期純利益とも計画を上回って推移しております。

〔通期予想値に対する進捗率〕

実質業務純益	89%
経常利益	84%
四半期純利益	84%

2. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	25年度第3四半期		24年度第3四半期	〔参考〕 25年度中間期
	(9ヵ月間)	対前年同期	(9ヵ月間)	
国債等債券損益(5勘定戻)	6,327	1,123	5,203	4,823
売却益	11,914	4,389	7,524	8,595
償還益	552	537	15	552
売却損	6,140	3,803	2,336	4,324
償還損	—	—	—	—
償却	—	—	—	—
株式等損益(3勘定戻)	2,099	4,039	△ 1,940	1,447
売却益	2,198	1,329	869	1,655
売却損	94	△ 706	800	92
償却	4	△ 2,003	2,008	115

3. 預金、貸出金の残高【単体】

(1) 全体

(単位：億円)

	25年度第3四半期		24年度第3四半期	〔参考〕 25年度中間期
	(末残)	対前年同期	(末残)	
預金	59,815	2,573	57,241	58,974
預金	58,806	1,666	57,140	58,689
貸出金	44,800	1,558	43,242	44,071
貸出金	44,314	1,614	42,699	44,198

(2) 長野県内店分

(単位：億円)

	25年度第3四半期		24年度第3四半期	〔参考〕 25年度中間期
	(末残)	対前年同期	(末残)	
預金	54,205	1,637	52,568	53,285
預金	53,545	1,127	52,418	53,578
貸出金	23,617	546	23,071	23,481
貸出金	23,566	477	23,088	23,545

4. 消費者ローン残高【単体】

(単位：億円)

	25年12月末		24年12月末	〔参考〕 25年9月末
		24年12月末比		
消費者ローン残高	10,472	531	9,941	10,350
うち住宅ローン残高	9,737	550	9,186	9,582

5. 中小企業等貸出金【単体】

(単位：億円)

	25年12月末		24年12月末	〔参考〕 25年9月末
		24年12月末比		
中小企業等貸出金(末残)	24,117	319	23,797	23,698
中小企業等貸出比率(%)	54.1	△ 1.1	55.2	54.0

(注) 1. 貸出金残高には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

2. 中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等であります。

6. 個人預り金融資産の残高(末残) 【単体】

(単位：億円)

	25年12月末		24年12月末	[参考] 25年9月末
		24年12月末比		
円貨預金	41,677	1,145	40,532	40,711
外貨預金	263	△ 24	288	274
投資信託	1,610	25	1,585	1,673
公共債(国債等)	2,422	△ 606	3,029	2,574
合 計	45,974	539	45,435	45,234

7. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 【単体】

(単位：億円)

	25年12月末	[参考] 25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	173	180
危険債権	944	970
要管理債権	313	277
合 計	1,432	1,429
総与信残高比 (%)	3.14	3.19

(注) 平成25年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。また、同計数は、当行の定める自己査定基準に基づく平成25年12月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。
なお、当行は部分直接償却を実施しておりません。

※債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 …………… 破綻先債権及び実質破綻先債権
危険債権 …………… 破綻懸念先債権
要管理債権 …………… 要注意先債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権

〈ご参考〉 部分直接償却を実施した場合は以下のとおりです。

(単位：億円)

	25年12月末	[参考] 25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	68	71
危険債権	944	970
要管理債権	313	277
合 計	1,327	1,320
総与信残高比 (%)	2.92	2.95

(注) 部分直接償却とは、自己査定により回収不可能または無価値と判定された担保・保証付き債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類債権額)を取立不能見込額として、債権額から直接減額することです。

8. その他有価証券で時価のあるものの評価損益【単体】

(単位：億円)

	25年12月末				〔参考〕25年9月末			
	貸借対照 表計上額	評価損益			貸借対照 表計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損	
その他有価証券	22,964	2,189	2,219	29	21,571	2,008	2,029	21
株式	2,624	1,637	1,642	4	2,418	1,438	1,443	4
債券	15,686	484	488	4	15,219	506	507	1
その他	4,653	67	88	20	3,932	63	78	15

- (注) 1. 評価損益は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。
2. 決算日の時価に基づいております。

(参考) 日経平均株価 平成25年12月末 16,291円、平成25年9月末 14,455円

9. 自己資本比率(国際統一基準)【連結】【単体】

平成25年3月末から新しい自己資本比率規制(バーゼル)が国際統一基準行に対し適用されています。当行は国際統一基準行であるため、25年3月末からバーゼル基準で自己資本比率を算出しております。

		25年12月末		〔参考〕 25年9月末	
		連結	単体	連結	単体
総自己資本比率	/	18.22%	17.31%	18.44%	17.55%
Tier 1 比率	/	15.09%	14.20%	15.50%	14.66%
普通株式等Tier 1 比率	/	14.93%	14.20%	15.33%	14.66%

(単位：億円)

	25年12月末	〔参考〕 25年9月末
総自己資本の額	5,574	5,398
Tier 1 資本の額	4,615	4,539
普通株式等Tier 1 資本の額	4,566	4,489
リスク・アセットの額	30,581	29,272
総所要自己資本額	2,446	2,341

- (注) 1. リスク・アセットの額算出において、信用リスク・アセットについては「基礎的内部格付手法」、オペレーショナル・リスク相当額については「粗利益配分手法」を用いて算出しております。
2. 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に8%を乗じた額です。

以上